



東 俣 野 10月号

東俣野小学校 学校だより 令和5年9月29日

“ 全国学力・学習状況調査からみえてきたこと ”

学校長 幸保 陽子

先日は授業参観・懇談会にお越しいただきありがとうございました。また、期間中、特別支援学校の保護者がつくった「子育て川柳」を掲示しましたが、多くの感想を寄せていただきありがとうございました。共感できる点が多々あったことと思います。私自身も改めて、子どもたちの明るい未来のために、何ができるのかと考えさせられました。

さて、4月に実施した全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。これは、全国の小学6年生と中学3年生を対象に国語、算数・数学、英語（中学のみ）の学力や学習状況を調査するものです。本校は国語・算数どちらも全国平均より下回っており、以前から同様の傾向が続いています。子どもの学力は、紙で行われる調査だけで全て測れるものではありませんし、そもそも学力の捉え方や考え方には様々な議論があることも承知しています。しかし、この結果を真摯に受け止め、子どもたちの学力を伸ばすために何ができるのかを考える必要があります。学校全体の課題であると捉えて、少しでも良い方向に改善していこうと考えています。

本校の児童のよさは、素直で人懐こく、様々な人とのかかわりを楽しめるところです。また友達や下級生の思いに寄り添い、優しくかかわることができる温かい心をもっていることです。これは、子どもたちが生きていく上でとても大切な力です。だからこそ、東俣野小の子どもたちの強みを生かして学習活動を進めていきたいと考えています。素直な子どもたちだからこそ、引き続きスモールステップで分かりやすい授業を展開していきたいと思ひますし、同時に、友達とのかかわりを中心にしたグループ活動を取り入れて、考えを広げたり深めたりする授業を目指したいと思ひます。本校では、今年度から国語と算数の授業を中心にした重点研究を行うことにしました。今後も、児童が「主体的・対話的で深い学び」を実現できるよう、教職員一同、授業改善を図っていきます。

また、家庭と連携して、学習を習慣化していくことも必要だと考えます。小学生の家庭学習の時間の目安は「学年×10分」と言われることがあります。難しいのは、時間よりも毎日継続することではないかと思ひます。まずは、宿題等をきっかけにしながら、10分でも15分でも継続して学習に取り組むことができるように学校でも働きかけていきます。ぜひ、ご家庭でも一緒に勉強することを楽しんでみたり、タイマーなどを活用しながら、できたことをほめたりして、小さな積み重ねを継続できるようご協力をお願いします。

これからもご家庭の協力を得ながら、ひがまたっ子たちが「できた!」「分かった!」と学習することの楽しさを様々な場面で感じられるよう努めていきます。